第１分科会 「カリキュラム・マネジメント」の推進

（担当：熊本・鹿児島）

予測困難で急激に変化する社会に生きる生徒は、未知の状況に対応し、新しい時代を切り拓いていく力を身に付けなければならない。そのため学校は、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を形成するという目標を社会と共有しながら、生徒に育成すべき資質・能力を具体的かつ明確に示し、社会と連携・協働して教育課程を編成・実践する「カリキュラム・マネジメント」の確立が求められる。

また、生徒が豊かな創造性を備え持続可能な社会の形成者となるためには「生きる力」が必要であり、育成を目指す資質・能力は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱からなっている。そこで各学校においては、教科等の目標や内容を見通し、特に学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等をはじめとする現代的な諸課題に対応して求められる力の育成のために、教科等横断的な学習の充実や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図るとともに教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上に努めることが必要である。

さらに、学習指導要領に基づいて、教育課程の実施状況を確実に把握しながら、学習効果の最大化を図る工夫が求められる。

協議題1　学習指導要領に基づく教育課程の実施状況を把握し、学習効果の最大化を図るための工夫
協議題2　新しい時代に求められる資質・能力を育成していくための教科等横断的な教育課程の編成・実施・評価・改善